

欧州特許庁（EPO）、欧州の大学における特許活動に関する報告書を公表

2024年10月29日

JETRO ティェットセルトール事務所

欧州特許庁（EPO）は、2024年10月22日、フラウンホーファー・システム・イノベーション研究所と共同で作成した、大学の特許活動に関する報告書を発表した旨、ニュースリリースにて公表した。

本ニュースリリース及び報告書の概要は以下のとおり。

- 本調査では、欧州の大学又はその知識移転機関（KTO：Knowledge Transfer Office）の名義で出願される特許（直接大学特許）、及び、欧州の大学又はそのKTOの名義での出願ではなく他の機関による出願であるものの、発明者に欧州の大学に所属しているが含まれている特許（間接大学特許）について、大学特許（academic patents）として調査を行っている。
- 直接大学特許は、ライセンス供与、第三者への売却、または株式の一部と引き換えにスタートアップ企業やスピンアウト企業への譲渡を通じて活用することができる。他方、間接大学特許は、大学と外部パートナー（特に産業界）との共同研究の結果として生じる可能性があり、外部パートナーは契約上、共同研究の結果を利用する権利を有するが、大学の研究者が独自に外部パートナーと協力したり、独自のベンチャー企業を立ち上げたりすることもある。
- 2019年には、大学特許が欧州特許出願全体に占める割合は約10%（直接大学特許は4.75%、間接大学出願は5.72%）となり、近年、大学特許が占める割合の着実な増加は（2000年の大学特許が占める割合は6.4%）、欧州のイノベーション・エコシステムにおける大学の影響力が拡大していることを表している。
- （間接大学特許に対する）直接大学特許の割合は、2000年から2019年にかけて、20%から45%に増加している。しかし、知的財産の所有と管理に関する国や大学レベルでのさまざまな規制により、大学自身が出願人となる頻度に大きなばらつきが生じている結果、大学の研究室のイノベーションを市場に投入するための戦略やパートナーにもばらつきが生じている。
- 大学特許は、一部の特許に積極的な大学（例えばグルノーブル・アルプ大学、ミュンヘン工科大学、オックスフォード大学、スイス連邦工科大学チューリッヒ校、コペンハーゲン大学、ミラノ工科大学など、EPOへ大学特許を出願している全大学の約5%）によって占められており、これらの大学だけで全大学特許の半分を占めている。
- 経済的に発展した国々（フランス、ドイツ、英国など）からの大学特許の絶対数は多いものの、これらの国々からの大学特許が欧州特許出願全体に占める割合は小さ

い。一方、EPO への特許出願の絶対数が少ない国々（中東欧諸国）は、これらの国々からの大学特許が欧州特許出願全体に占める割合は大きく、大学がこれらの国々でイノベーション・エコシステムの重要な柱になっていることを示している。

- 本調査では、大学が他の大学や公的研究機関、研究病院、企業と協力し、多数の直接大学特許を共同出願していることも明らかになっている。例えばフランスでは、大規模な公的研究機関（CNRS、INSERM 等）が共同出願人として重要な役割を果たしている。また、これらの協力関係のほとんどが国境を越えたものではないことも明らかであり（大学特許の共同出願人の約 80%はパートナー大学と同じ国に所在しており、それ以外もほとんどは他の欧州諸国に所在している）、研究やイノベーションに関してはEUの単一市場が依然として断片化されていることを示している。
- 間接大学特許の約 80%は企業によるもので、中小企業が約 34%を占めているが、国によって違いがあり、フランスでは大学以外の研究機関（大規模な公的研究機関、研究病院等）が間接大学特許の半分以上を占め、ベルギーでは約 3 分の 1 を占めている。ドイツ、スウェーデン、デンマーク、フィンランド、オランダ、ハンガリーでは、間接大学特許の 50%超が大企業によるものである。

EPO のカンピーノス長官は、「欧州には優れた学術的伝統があるが、研究を商業的成功に結びつけるのに苦労することがある。本調査は、欧州全体の学術的な発明力を明らかにし、政策や戦略に役立てるものである。」と述べている。本調査では、欧州の大学発明に関して、いくつかの課題が挙げられているが、今後、これらを踏まえて、どのような政策や戦略が立てられるか、引き続き、注視していきたい。

— EPO のニュースリリース等は、以下参照 —
(ニュースリリース)

[Patenting by European universities on the rise](#)

(報告書：全文)

[The role of European universities in patenting and innovation](#)

(報告書：エグゼクティブサマリー)

[The role of European universities in patenting and innovation : Executive summary](#)

(以上)